

◆ルアンダ州でのモニタリング&スーパービジョン実施中◆

世界への新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染が拡大する中、プロジェクトができることを精一杯やっていきたい、アンゴラの力になりたいという思いのもと、2020年4月に国家公衆衛生局へ COVID-19 に関連した活動ニーズの聞き取り調査を行いました。その結果、母子保健サービスの提供が一時ストップしている保健施設があることや、保健施設で COVID-19 対策が実施できているか確認する必要があることがわかりました。そのため、母子保健サービスの現状・COVID-19 対策をモニタリングするためのモニタリング&スーパービジョン（M&S）の優先順位が高いと判断されました。6月29日から、国家公衆衛生局・ルアンダ州保健局・プロジェクトローカルスタッフでチームを組み、M&S が開始されました。M&S チームは COVID-19 感染予防（マスク着用、アルコール消毒の徹底、車の換気、検温の実施等）に細心の注意を払いながら、M&S 活動を実施しています。



ルアンダ州の保健施設の状況・母子保健サービスの提供状況（一部）

- ほぼ全ての保健施設で、母子に対して COVID-19 の情報を提供しています。
- 距離を取りながら母親学級を継続しています。
- ほぼ全ての保健施設で手洗い場の設置を行っています。
- Belas 市と Talatona 市はほとんどの保健施設で小児健診を実施できています。
- 母子健康手帳の在庫が切れている保健施設はありませんでした。

◆ベンゲラ州・ウアンボ州でも M&S 実施中◆

プロジェクト対象州であるベンゲラ州・ウアンボ州でも州保健局職員が M&S 活動を実施しています。プロジェクトではカウンターパートとの WhatsApp グループを作成し、活動状況の情報交換・写真の共有を行っています。より一層コミュニケーションを促進していきます。

